

# 野間仁根 館蔵品展 -Part1 森-



## 「自由に、 思うがままに」

2020年1月21日(火)～2020年4月19日(日)

〒794-2103  
愛媛県今治市吉海町福田1290番地  
TEL/FAX(0897)84-2566

- 休館日 ◆月曜日（祝日の場合は原則翌日）  
開館時間 ◆9：00～17：00（入場は16：30まで）  
入館料 ◆一般310円・学生160円  
◆高校生以下または18歳未満無料  
※団体（20名以上）・65歳以上の方は2割引  
※障害者手帳をお持ちの方、その介護者1名は無料

野間仁根  バラのミュージアム  
(今治市吉海郷土文化センター)



◆猿の家族



◆森の猿(4)

野間仁根バラのミュージアム（今治市吉海郷土文化センター）は、郷土出身の洋画家、野間仁根の作品を所蔵する施設です。

吉海町（旧津倉村）に生まれ育った仁根は、自然を愛し、森、海、星空などをテーマに、そこに生きる動物、植物、昆虫、そして人がおこなう幻想的な世界を描きました。

令和2年度は、当館の所蔵する80点あまりの仁根の作品を、テーマ別に展示いたします。パート1「森」、パート2「海」、パート3「星空」、今回は「森」をテーマに描かれた作品の展示です。

仁根が描く独自の世界をどうぞご覧ください。

# 野間 仁根 「自由に、思うがままに」

NOMA HITONE

-Part 1 森-

## 【略歴】

1901年 2月5日 津倉村（現吉海町）に生まれる。  
 1919年 伯父を頼り、母と上京。  
 1920年 川端画学校に学び、4月東京美術学校（現東京芸術大学）に入学。1955年 二科会脱会。  
 1924年 第11回二科展で「ランプのある静物」が初入選。  
 1925年 東京美術学校卒業。  
 1928年 第15回二科展で「夜の床」が樗牛賞受賞。  
 1929年 第16回二科展で「ぜ・ふるむらん」が二科賞受賞。  
 1931年 佐藤春夫作「むさしの少女」に挿絵を描く。  
 1932年 津倉村に於いて志那と結婚。  
 1933年 二科会会員に推挙される。

1938年 熊谷守一と作品発表2人展を開催。  
 1944年 郷里（津倉村）に疎開。二科会解散。  
 同年、鈴木信太郎らと一陽会を結成。  
 その後、個展や小規模なグループ展を開催。  
 1979年 12月30日。78歳で逝去。  
 現在も吉海町・福蔵寺に眠る。



展示室2 ↓



展示室3 ↓



## 館内インフォメーション

- 展示室1 ⇒ 貸館対応室  
習い事教室、趣味の展示会などにお使い下さい。
- 展示室2 ⇒ ふるさとの暮らし  
古民具、漁具、農具などを展示。
- 展示室3 ⇒ 郷土のあゆみ  
大島に現存する神社でいちばん古いとされる田中神社ゆかりの品、その他の展示。

〒794-2103 愛媛県今治市吉海町福田1290番地 TEL/FAX0897-84-2566

野間仁根 バラのミュージアム（今治市吉海郷土文化センター）

### ■ 広島県尾道市側から

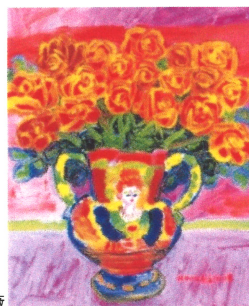
[自動車] ◆ 尾道IC/福山西IC松永・尾道バイパスを經由してしまなみ海道：大島北ICから約10分

[バス] ◆ 広島バスセンターまたは福山駅前からしまなみライナーにて大島BS下車・乗換  
島内路線バスにて「幸」さいわい下車・徒歩10分

### ■ 愛媛県今治市側から

[自動車] ◆ しまなみ海道：大島南ICから約10分

[バス] ◆ 今治駅から特急（または急行）バスにて「吉海支所」下車  
徒歩15分



◆薔薇

